

# 令和5年度獣医師能力向上・就業支援・地域獣医療体制整備支援事業 「女性獣医師等就業支援研修」開催要領

公益社団法人 日本獣医師会

## 1. 目的

女性獣医師等に対し、獣医系大学、家畜保健衛生所、動物検疫所、動物衛生研究部門、民間の家畜診療施設等を活用し、家畜伝染病の検査技術、家畜の診療技術等を修得するための技術研修を実施することにより、職場復帰・再就職に必要な最新知識の修得、獣医療技術向上を図る。

## 2. 対象者

研修の対象者（参加獣医師）は女性獣医師等とし、5～10名を目安とする。

※受講人数はあくまで通常を目安であり、開催にあたっては、感染症予防に配慮し、会場定員の半数以下の参加者とすることや、オンラインによるセミナー開催など、各地域において工夫願います。

## 3. 指導獣医師

指導獣医師は、原則として獣医系大学、家畜保健衛生所、動物検疫所、動物衛生研究部門、民間の家畜診療施設等の臨床獣医師または獣医学系大学教員等とする。

## 4. 実施場所

全国の家畜診療施設等5カ所を目安に実施する。

## 5. 実施時期と日数等

実施時期は、令和5年4月3日(月)から令和6年2月末日までの間とし、実施日数は1～3日程度とする。講習会を実施する場合は、予め開催企画書を提出する。また、実習プログラムを実施する場合は、予め実習プログラムの実施計画を策定し、実施企画書を提出する。

※すでに実施済みであっても、上記期間内であれば本事業にて対応可能です。

## 6. 実施費

研修終了後、実施団体の請求（外部の者が発行する見積書、納品書、請求書、領収書等の支払証拠書類を添付すること）に応じて、実施費の実費を日本獣医師会から交付する。

【講習会実施使用例】 以下はあくまで記入例です。

区分	数量	単価	金額	備考
①施設使用料	1日		53,000円	施設の借上代金等
②会場整理賃金	2人	6,000円	12,000円	会場整理等の人件費等
③通信運搬費			10,000円	郵券代等
④消耗品等費			15,500円	看板、事務用品・文具代等
合計			90,500円	

※ 消費税を含む。

【実習プログラム実施費使用例（1カ所：2人/3日間の場合）】 以下はあくまで記入例です。

区 分	数量	単 価	金 額	備 考
①施設使用料	3日	6,000円	18,000円	家畜診療施設使用費等
②資料印刷費	2人	2,500円	5,000円	指導獣医師資料作成費等
③薬 品 費	2人	7,500円	15,000円	動物用医薬品等
④器具器材費	2人	3,000円	6,000円	医療器具等
⑤消耗品等費	2人	2,000円	4,000円	医療用手袋代等
合 計			48,000円	

※ 消費税を含む。

講習会実施の際の注意：

- (1) 原則として、全ての実施費の内訳がわかるよう、開催費請求書には明細を添付する。
- (2) 講師の旅費及び謝金は、日本獣医師会から直接、講師本人に支払う。
- (3) 支払証拠書類は、「どこ」に「いくら」、「どのような内容」を支払ったことがわかる、
  - ①「見積書」、②「納品書」、③「領収書」または「請求書と振込証拠書類」とする。
 ※コピー可。但し、コピーの場合は原本を開催担当団体で保管すること。
- (4) 各費用における注意事項は以下のとおり。
  - ①施設使用料：会場使用料のほか、会場附帯設備（マイク、ホワイトボード、パソコン・プロジェクター等）の使用料を含む。
  - ②会場整理賃金：会場整理及び研修運営補助人員の person 費とする（1,000円/時間を上限）。  
 勤務時間を記録し、領収書に添付すること。なお平日開催の場合、常勤の役職員等への支払は不可とする（常勤の場合は所属先との給与の二重支払いとなるため）。
  - ③通信運搬費：会員獣医師や受講者等への通知に要する郵送費、教材の運送費等とする。  
 なお、開催報告書には証拠書類として発送先リストを添付する。
  - ④消耗品等費：消耗する備品、事務用品・文具代金等とする。

**注意：会議費（弁当・お茶代）は、農林水産省からの指導により、平成26年度から支出不可となっております。**

実習プログラム実施の際の注意：

- (1) 原則として、全ての実施費の内訳がわかるよう、実施費請求書には明細を添付する。
- (2) 指導獣医師の旅費及び謝金は、獣医療提供体制整備推進協議会（日本獣医師会）から直接、指導者本人に支払う。
- (3) 支払証拠書類は、「どこ」に「いくら」、「どのような内容」を支払ったことがわかる、  
「領収書」または「請求書の振込証拠書類」とする。  
 ※コピー可。但し、コピーの場合は原本を開催担当団体で保管すること。
- (4) 各費用における注意事項は以下のとおり。
  - ①施設使用料：受入農場施設の使用料の他、農場で使用した設備等の利用代金を含むものとし、それぞれ項目ごとの費用明細を添付。
  - ②資料印刷費：実習に使用する資料等のコピー、製本代等。コピー機を使用して作成する場合は、単価のわかる資料を添付。外部に依頼する場合は3社以上の競争により請負先を決定し、選定経過及び見積書、納品書、請求書（領収書と振込証拠書類）を報告書提出時に添付すること。

※コピー可。但し、コピーの場合は原本を開催担当団体で保管すること。

- ③薬品費：実習で用いた動物用医薬品に係る経費等。
- ④器具器材費：実習で使用した診療器具・器材に係る経費等。但し、原則として研修のみに使用する（研修後に廃棄処分する）器具・器材を対象とする。
- ⑤消耗品費：実習で用いた医療用手袋等をはじめとする消耗品の他、文具代等。
- ⑥その他：

- ・会場整理賃金：会場整理及び研修運営補助人員の人件費とする（1,000円/時間）を上限。なお、平日開催の場合、常勤の役職員等への支払いは不可とする（常勤の場合、所属先との給与の二重支払いとなるため）。
- ・通信運搬費：参加獣医師等への通知に要する郵送費、資料の運送費等とする。なお、証拠書類として発送先リストを添付する。

**注意：会議費（弁当・お茶代）は、農林水産省からの指導により、平成26年度から支出不可となっております。**

## 7. 研修の概要・実施報告書の提出

研修実施団体（獣医系大学、家畜保健衛生所、動物検疫所、動物衛生研究部門、民間の家畜診療施設等）は、事前に企画書（講習会にあつては様式第1号、実習プログラムにあつては様式第4号）を日本獣医師会に提出する。また、研修終了後、速やかに報告書（講習会にあつては様式第2号、実習プログラムにあつては様式第5号及び6号）及び請求書（講習会にあつては様式第3号、実習プログラムにあつては様式第7号）を日本獣医師会に提出する。※様式1～7号は押印省略可能です。

## 8. その他

実施企画の策定にあたっては、各地区内における他の講習会・研修会等と日程が重複しないように十分配慮する。

令和5年度  
「女性獣医師等就業支援研修（講習会）」  
開催企画書

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫 様

\_\_\_\_\_ ㊟  
\_\_\_\_\_

令和5年度「女性獣医師等就業支援研修（講習会）」は下記のとおりで開催を希望します。

記

- (1) 開催日時 令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日( ) \_\_\_\_ : \_\_\_\_ ~ \_\_\_\_ : \_\_\_\_
- (2) 開催場所 会場名 : \_\_\_\_\_  
住所 : \_\_\_\_\_  
電話 : \_\_\_\_\_
- (3) 講師 演題名 : \_\_\_\_\_  
氏名 : \_\_\_\_\_  
所属・役職 : \_\_\_\_\_  
演題名 : \_\_\_\_\_  
氏名 : \_\_\_\_\_  
所属・役職 : \_\_\_\_\_

(4) 開催費（予算）

区分	数量	単価	金額	備考
① 施設使用料				
② 会場整理賃金				
③ 通信運搬費				
④ 消耗品費				
合計				

※ 消費税を含む。

- 注 意： (1) 開催要領の開催費の注意事項に留意し、企画書作成時点における内容とする。  
(2) 外部の会場を使用する場合は、施設使用料に正確な見積り金額を記載する。  
(3) 会場整理賃金は、開催規模に見合った人数（1～2人程度）とする。

令和5年度  
「女性獣医師等就業支援研修（講習会）」  
開催報告書

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫 様

\_\_\_\_\_ 印  
\_\_\_\_\_

令和5年度「女性獣医師等就業支援研修（講習会）」を下記のとおり開催したので、関係書類を添えて報告します。

記

- (1) 開催日時 令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日( ) \_\_\_\_:\_\_\_\_~\_\_\_\_:\_\_\_\_
- (2) 開催場所 会場名: \_\_\_\_\_  
住所: 〒 \_\_\_\_\_  
電話: \_\_\_\_\_
- (3) 講師 演題名: \_\_\_\_\_  
氏名: \_\_\_\_\_  
所属・役職: \_\_\_\_\_  
演題名: \_\_\_\_\_  
氏名: \_\_\_\_\_  
所属・役職: \_\_\_\_\_
- (4) 受講者数 \_\_\_\_\_名 (受講者名簿は別添)
- (5) 開催費送金先 \_\_\_\_\_銀行 \_\_\_\_\_支店 (普通・当座)  
口座番号 \_\_\_\_\_  
フリガナ  
口座名義 \_\_\_\_\_
- (6) 関係添付書類 開催費請求書 (様式第3号)、受講者リスト、研修で使用した資料等

(様式第3号)

令和5年度  
「女性獣医師等就業支援研修（講習会）」  
開催費請求書

令和\_\_年\_\_月\_\_日

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫 様

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
印

令和5年度「女性獣医師等就業支援研修（講習会）」を終了したので、開催費を次のとおり請求します。

開催費合計 金 \_\_\_\_\_ 円(消費税含む)

〔開催費の内訳〕

区分	数量	単価	金額	備考
① 施設使用料				
② 会場整理賃金				
③ 通信運搬費				
④ 消耗品費				
合計				

※ 消費税を含む。

※ 開催費の明細、支払証拠書類（見積書、納品書、領収書、請求書等）は別添

令和5年度  
「女性獣医師等就業支援研修」  
実習プログラム実施企画書

令和\_\_年\_\_月\_\_日

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫 様

団体名：\_\_\_\_\_ ⑩

(1) 実施日時 令和\_\_年\_\_月\_\_日( ) \_\_: \_\_ ~ \_\_月\_\_日( ) \_\_:

(2) 実施場所 施設名：\_\_\_\_\_

住所：〒\_\_\_\_\_

電話：\_\_\_\_\_

(3) 実施内容

指導獣医師氏名 (所属)	プログラムの内容

令和5年度  
「女性獣医師等就業支援研修」  
実習プログラム実施報告書

令和\_\_年\_\_月\_\_日

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫 様

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
⑩

令和5年度「女性獣医師等就業支援研修」を下記のとおり実施したので、関係書類を添えて報告します。

記

- (1) 実施日時 令和\_\_年\_\_月\_\_日( ) \_\_: \_\_ ~ \_\_月\_\_日( ) \_\_: \_\_
- (2) 実施場所 施設名: \_\_\_\_\_  
住所: \_\_\_\_\_  
電話: \_\_\_\_\_
- (3) 指導獣医師 プログラム名: \_\_\_\_\_  
氏名: \_\_\_\_\_  
所属・役職: \_\_\_\_\_
- (4) 参加獣医師 \_\_\_\_\_名 (氏名・所属は別紙にて提出)
- (5) 実施費送金先 \_\_\_\_\_銀行 \_\_\_\_\_支店 (普通・当座)  
口座番号 \_\_\_\_\_  
フリガナ  
口座名義 \_\_\_\_\_
- (6) 関係添付書類 実施状況報告書 (様式第6号、参加獣医師1名ごとに作成)、実施費請求書 (様式第7号)、実習で使用した資料等



令和5年度  
「女性獣医師等就業支援研修」  
実習プログラム実施状況報告書

指導獣医師氏名： \_\_\_\_\_

参加獣医師氏名： \_\_\_\_\_ (所属 \_\_\_\_\_)

1. 次の欄は、参加獣医師本人が記入する。

実 習 内 容	
自 己 評 価	

2. 次の欄は、指導獣医師（ ）が記入する。

実習のねらい	
実習の効果・評価	

※ 実習内容（実習プログラム）等を日毎に報告する等詳細に記入し、記入欄は必要に応じて増やしてください。

(様式第7号)

令和5年度  
「女性獣医師等就業支援研修」  
実習プログラム実施費請求書

令和\_\_年\_\_月\_\_日

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫 様

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
印

令和5年度「女性獣医師等就業支援研修」を終了したので、実施費を次のとおり請求します。

実施費合計 金 \_\_\_\_\_ 円(消費税含む)

〔実施費の内訳〕

区 分	数量	単 価	金 額	備 考
① 施設使用料				
② 資料印刷費				
③ 薬 品 費				
④ 器具器材費				
⑤ 消耗品等費				
合 計				

※ 消費税を含む。

※ 実施費の明細、支払証拠書類（見積書、納品書、領収書、請求書等）は別添